



「閉校記念式典」「思い出の会」 ありがとう野田中学校

野田中学校

3月15日(火)、野田中学校の体育館で「閉校記念式典」が行われました。閉校記念式典実行委員長などのあいさつの後、生徒による「野田中の歴史とわたしたちの思い出」の発表がありました。2年生は、式典当日までの4カ月間、総合的な学習の時間で、野田中69年間の歴史を調べてきました。

野田中学校は、昭和22年に開校。その当時、校舎はなく、役場の部屋を借りるなど、大変厳しい環境でスタートしました。校舎建築のために周りの山の木々を伐採し、森がなくなってしまったことから、5カ年計画で生徒たちが植林作業を行いました。その取り組みが認められ、県の植林コンクールで優勝、全国大会で入賞することができたそうです。

開校当時から続いてきた保・小・中運動会の変遷や、防火用水池に住むガチョウに給食で残ったパンをあげて飼育したエピソードなども、寸劇を交えて発表しました。発表の最後には、生徒代表が思い出深い校舎や運動場、体育館に感謝の気持ちを伝え、唱歌「ふるさと」を全校生徒で歌いました。生徒たちは、野田校区の良さをあらためて実感することができました。

その後、校区主催の「思い出の会」が催されました。いろいろな年代の卒業生の名演技を交えた思い出話は、とても盛り上がりました。「シルバーサロン」のボランティアの皆さんからは、1・2年生に田原中でがんばってほしいという気持ちを込めて2000羽の折り鶴をいただきました。

後半は、お菓子や甘酒を味わいながら、懐かしい昔のアルバムを見て語り合いました。会の最後は、生徒・職員・同窓生のみなさん500人余りで校歌を大合唱し、締めくくりました。

地域の方やPTA役員さんの温かいご支援で、素晴らしい式典・思い出の会となりました。4月から、田原中へ通う生徒は、野田中で学んだ誇りと思い出を胸に、がんばる決意を固めていました。



●ガチョウのエピソードを寸劇で発表



●音楽室に感謝の気持ちを呼びかける生徒



●「ふるさと」の全校合唱



●昔の写真を囲み盛り上がる校区の方々



●校区主催の「思い出の会」